

あけぼし

じょうえつ市議会だより

未来の議員候補が議会を見学





特集 小中学生の議会学習

未来の議員候補が 議会を見学



小・中学生の皆さんに、議会はどんなところなのか、議員はどんな仕事をしているのかなど、議会について知ってもらうため、議会学習を開催しています。当日は、本会議の流れの学習と議員への質問コーナー、議場や委員会室などの議会フロアの見学を行いました。

議員にこんなことを聞いてみた！

●生徒 どうして議員になろうと思いましたか。

●議員 市民に夢や希望をもってもらい、上越市を安心・安全なまちや生き生きとしたふるさとを築き誇れるまちにするためです。

●生徒 この仕事は楽しいですか？

●議員 楽しいし、やりがいもあります。

●生徒 議員の仕事をするときに、気を付けていることは何ですか。

●議員 常に、市民の皆さんの願いや希望に沿った活動になっているか気を配っています。

●生徒 議員になるには、どのような勉強をしたらいいですか。

●議員 すべての教科をまんべんなく勉強すること、世の中のことをよく知ることだと思います。

感想をいただきました！

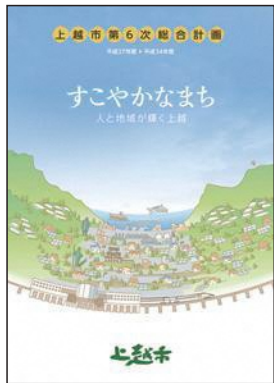
生徒 教科書で見ただけではわからないことを、実際に見て・聞いて学べたので、議会に興味を持つことができました。

生徒 議員は、私たちにとても身近な存在だと知りました。選挙は、上越市の未来のために重要なことだとわかったので、投票できるようにになったら、必ず選挙に行くようにしたいです。

先生 ユーモアを交えながら、とてもわかりやすくお話いただき、子どもたちは普段の学習以上に真剣に取り組みました。今回の学習を通じて、子どもたちも議会が身近に感じられるようになりました。



02 point
第7次総合計画



第6次総合計画

総合計画とは、市の最上位計画であり、これからの市政運営の総合的な指針となるものです。
新しい第7次総合計画は、令和5（2023）年度から令和12（2030）年度までの8年間の計画です。

将来都市像
暮らしやすく、
希望あふれるまち上越

将来都市像とは、令和12（2030）年度に上越市が目指すまちの姿です。



04 point
市民いこいの家

浴場の廃止

令和5年3月31日



浴場の廃止後は、高齢者の趣味活動の場・作品展示の場・地域の交流の場として施設の利活用に向けた取り組みを進めます。

03 point
副市長の給料カット

人口減少緩和に取り組む決意と姿勢を示すために給料を減額した市長の考えに副市長が同調し、減額を申し出ました。

減額前 約73万円/月 → -10% 減額後 約66万円/月

副市長2人合わせて
年間280万円減



10月臨時会

年4回の定例会のほかに、緊急に審議しなければならない場合に、臨時会が開催されます。

point
子育て世帯への支援給付金

今回の臨時会では、物価高騰等の影響が大きい18歳までの児童がいる子育て世帯に対する支援が決定しました。

児童1人当たり
1万円支給

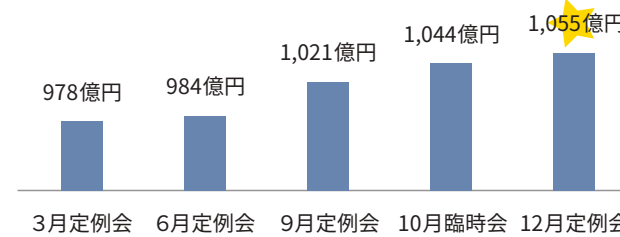
05 point
通園・スクールバスの置き去り事故を防ぐ安全装置

通園バスに児童が長時間に渡って置き去りにされ、死亡する事件が他市で発生したことを受け、通園バス等にブザーを使った安全装置などが設置されます。

総事業費
1,141万円
89台分



令和4年度の市の予算推移



新型コロナウイルスワクチンの接種費用や物価高騰対策の費用などが増額されてきました。

12月定例会の補正予算の主な内容は、エネルギー価格高騰により、公共施設等における光熱水費などに不足が見込まれることから、所要額が増額されました。また、上越市第7次総合計画基本構想及び基本計画の策定などが提案されました。今定例会の注目すべき5つのポイントをご紹介します。

01 point
電気・ガス料金等の高騰への対応

エネルギー価格の高騰に伴い、不足が見込まれる市の直営施設等の燃料費、電気料金、ガス料金が増額されました。

増額前 11.8億円 → +4億円 増額後 15.8億円



令和4年度の補正予算などを審査する

12月定例会

3・6・9・12月に開催される定例会のうち、12月定例会の内容をお届けします。

12月定例会は、主に今年度の補正予算を審査しました。

12月定例会の流れ

- 1 市長による議案の提案説明 11/30㊟
- 2 総括質疑 11/30㊟
議員が提案された議案に対し質疑を行う
- 3 委員会付託 11/30㊟
4つの常任委員会に審査を付託することを決定
- 4 常任委員会 12/1㊟～6㊟
総務・厚生・農政建設・文教経済の各常任委員会に分かれて審査
- 5 一般質問 12/7㊟～12㊟
議員が市政全般に渡って質問し、市の見解を聞く（関連記事10～18ページ）
- 6 委員長報告 12/14㊟
各常任委員会での審査結果を全員で共有
- 7 討論 12/14㊟
議案等に対して賛成か反対とその理由を表明し、意見をたたく（関連記事8ページ）
- 8 採決 12/14㊟
議案等の可否を決める（関連記事9ページ）

注目の質疑



第7次総合計画

まちづくりを総合的かつ計画的に進めるための指針として、令和5年度を初年度とする新たな総合計画が提案されました。

Q 策定後、幅広い年代の人から理解してもらおうための取り組みは、

A 出前講座やプロモーション動画などで発信していく。

●市長／市民の理解と参画を促進するため、各種広報を通じて広く発信していくほか、概要版を作成し中高生や各種団体を対象とする出前講座等に活用する。また、デジタルブックやプロモーション動画のような視覚的にわかりやすい手法を取り入れるなど、発信力の強化に努めていく。

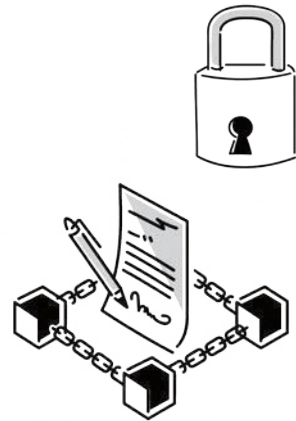
個人情報保護

個人情報保護に関する法律が改正され、全国共通のルールとなることから、関係条例を整備する条例案が提案されました。

Q 個人情報保護の水準は引き続き確保されるのか。

A これまでと同様の運用を行っていく。

●総務管理部長／改正後の法律には、個人情報保有する際の制限事項や個人情報収集する際に利用目的を明示することを定めている。また、自治基本条例の「個人の尊厳を確保する」という基本認識は変えていないことから、これまでと同様の運用を行っていく。そのほか個人情報を取り扱う業務を委託する場合についても、委託業者に対して、これまでと同等あるいはそれ以上の個人情報の管理の遵守を求めている。



通園バス安全装置

国が令和5年4月から、児童の送迎用バスに、児童の置き去りを防止する装置の設置を義務付ける方針を定めたことから、通園バス及びスクールバスへの安全装置設置費用に関する補正予算が提案されました。



Q どのような機器を想定して効果をどう見込んでいるか。

A エンジン停止後に車内後方でブザー音が鳴り降車漏れを確認。

●市長／送迎用バスのエンジン停止後にブザーが鳴り、乗務員が車内後方のボタンを押してブザーを停止する装置の導入を予定している。安全装置により、車内点検が課せられ、その際、児童の降車漏れがないかの確認が行われる。

従来の安全管理を徹底するとともに、安全装置による確認を加えることで、より一層の安全管理に万全を期していく。

介護保険制度

国が介護保険見直しの検討を進めている中、利用者や従事者が、必要な時に必要なサービスを利用・提供できる制度に転換するため、国に対し意見書の提出を求める請願について審査が行われました。

賛成

負担増は利用控えに繋がる。国庫負担割合の引き上げを。

反対

国で検討中であり、推移を見守る必要がある。

●賛成議員／要介護1、2を給付から外すことやケアプランの有料化といった利用者負担の増加は、利用控えに繋がりがねない。保険料は上げずに国庫負担を増やすべきと考える。この趣旨に賛同する。

●反対議員／現在国が検討中であり、厚生労働省からは要介護1、2を給付から外すことやケアプランの有料化を見送る方向も出ており、推移を見守る必要がある。また、国庫負担の増大は、最終的には国民ひいては若年層世代の負担に繋がる。介護保険制度の維持を図るためにも、賛同できない。



第三セクター経営健全化

第三セクターの経営健全化に向けて、令和4年度中にJーホールディングス株式会社の事業会社4社の集約と、持ち株会社の解散を進めるに当たり、集約の効果や、各施設の今後の取組内容について説明がありました。

Q 各施設のアクションプランをどういかしていくのか。

A 各施設の取組内容を検討し経営改善に取り組む。

●施設経営管理室／各施設の取り組みの検討や、施設の強みと弱みなどの分析を行い、経営改善に向けたアクションプランを作成する。これを基に、集約会社の事業計画や収支計画を策定する作業を進めていく。



集約の対象となる4施設

第3次総合教育プラン

令和5年度から12年度までの8年間の市の教育方針と具体的な取り組みについて説明がありました。



Q いじめや不登校をめぐり家庭等への支援体制は。

A 専門チームでの対応をはじめ、総合的に取り組んでいく。

●学校教育課／いじめや不登校の事案は、学校だけで解決できないこともあり、JAST（ジャスト）、上越安心サポートチームで対応している。令和3年度から臨床心理士も加わり、福祉との連携も強化した。不登校は誰にでも起こり得るという考えの下、全ての小・中学生の保護者にリーフレットを配布して相談窓口を紹介した。今後、総合的な体制づくりを進めていく。

都市ガス料金改定

原料価格の高騰に伴い、令和5年4月からガス料金を値上げすることが提案されました。

Q ガス料金軽減のため、国の激変緩和対策事業を受けないのか。

A 国へ申請手続きを行い、市民の負担軽減を図る。

●議員／エネルギー価格の高騰による負担を緩和するため、国が電気・ガス価格激変緩和対策事業を始めた。市も申請する考えはないのか。

●ガス水道局総務課／国は申請を呼び掛けており、上越市も手続きを進めている。採択された際には、1m³当たり30円の値引きを行える制度である。

※令和4年12月14日付で交付決定となり、下記期間のガス料金が値引きされることが決定した。



対象期間	値引き単価
令和5年1月使用（2月検針）分から8月使用（9月検針）分まで	1 m ³ 当たり30円（税込み）
令和5年9月使用（10月検針）分	1 m ³ 当たり15円（税込み）

●副市長／これまで国からの交付金や財政調整基金を取り崩しながら、より経済的に厳しいと思われる家庭や事業所に対して、臨時給付金の支給等で支援しているが、財源には限りがある。今後、国の動向を注視しながら、適時、的確に支援できるように考えていく。

Q 物価が高騰する中、市民に対する支援策はないか。

A 財源には限りがある。国の動向を注視し支援を検討。

審議結果

10月臨時会					◎：出席者全員賛成で可決　○：賛成多数で可決　×：賛成少数で否決（不採択）				
議案等番号		案件名		議決結果	議案等番号		案件名		議決結果
予算	101	令和4年度上越市一般会計補正予算（第4号）		◎	報告	6	専決処分した事件の承認について（令和4年度上越市一般会計補正予算（専第2号））		◎

12月定例会							
議案等番号		案件名	議決結果	議案等番号		案件名	議決結果
予算	102	令和4年度上越市一般会計補正予算（第5号）	○	条例	123	市民いこいの家条例の一部改正について	○
	103	国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	◎		124	上越市下水道条例の一部改正について	○
	104	診療所特別会計補正予算（第1号）	◎		125	上越市農業集落排水条例の一部改正について	○
	105	介護保険特別会計補正予算（第2号）	◎		126	上越市浄化槽整備推進事業に係る浄化槽の設置等に関する条例の一部改正について	○
	106	病院事業会計補正予算（第1号）	◎		127	上越市公営企業の設置等に関する条例の一部改正について	◎
	107	下水道事業会計補正予算（第2号）	◎		128	上越市ガス水道事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○
	108	ガス事業会計補正予算（第1号）	○		129	上越市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	◎
	109	水道事業会計補正予算（第1号）	◎		130	上越市液化石油ガス供給条例の一部改正について	○
	110	工業用水道事業会計補正予算（第1号）	◎		131	上越市ガス供給条例の一部改正について	○
条例	111	上越市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	○	その他	132	上越市グループハウス条例の廃止について	◎
	112	上越市個人情報の保護に関する法律の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○		133	上越市市民の森条例の一部改正について	◎
	113	職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について	◎		134	上越市地域生涯学習センター条例の一部改正について	◎
	114	職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について	◎		135	上越市第7次総合計画基本構想及び基本計画の策定について	◎
	115	職員の定年等に関する条例の一部改正等について	◎		136	市道路線の認定について	◎
	116	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○		137	財産の処分について	◎
	117	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	○		請願 5	介護保険制度の改善を求める意見書採択に関する請願書	×
	118	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の一部改正について	○		同意 7	上越市固定資産評価審査委員会委員の選任について	◎
	119	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	◎		諮問 8～14	人権擁護委員候補者の推薦について	◎
	120	上越市北陸新幹線上越妙高駅周辺地区における企業等の立地の促進に関する条例の一部改正について	◎		発議 4	上越市議会個人情報の保護に関する条例の制定について	○
	121	上越市特別会計条例の一部改正について	◎		5	免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について	◎
	122	上越市手数料条例の一部改正について	◎				

賛否が分かれた案件

議案等番号	議決結果	合計		会派																										日本共産党 議員団		公明党		会派に 属さない 議員	
				久比岐野								政新クラブ						みらい						創風											
		賛成	反対	木南和也	安田佳世	恵美子 ストラットン	橋本洋一	大島洋一	渡邊隆	飯塚義隆	江口修一	鈴木めぐみ	牧田正樹	丸山章	小林和孝	滝沢一成	栗田英明	こんどう彰治	高橋浩輔	高山ゆう子	中土井かおる	宮川大樹	本山正人	波多野一夫	小山ようこ	宮崎朋子	池田尚江	武藤正信	平良木哲也	上野公悦	橋爪法一	山田忠晴	杉田勝典		宮越馨
102	可決	26	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	-
108	可決	26	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	-
111	可決	25	4	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	-
112	可決	25	4	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	-
116	可決	26	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	-
117	可決	22	7	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	×	-
118	可決	26	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	-
123	可決	26	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	-
124	可決	26	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	-
125	可決	26	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	-
126	可決	26	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	-
128	可決	26	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	-
130	可決	26	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	-
131	可決	26	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	-
請願5	不採択	9	20	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	欠	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	欠	×	○	-	
発議4	可決	26	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	-

※議長（石田裕一）は採決には加わらない。



討論

討論とは、提案された議案等に対して、議員が賛成か反対かを表明するものです。その討論の内容も踏まえて、採決に進みます。

市長提出議案、請願 1 件及び発議案 1 件に対して討論が行われました。

議案第 102 号から議案第 137 号までに対して

反対



宮越馨（無所属）

副市長の給与減額理由が不明確であり、透明性・客観性を保つため第三者機関の意見を聞くべきだ。副市長4人制を前提とした職務を2人体制で遂行し、職務加重となっている中での給与減額は、士気を低下させ、市政運営に支障をもたらすと考えるため、議案第 117 号に反対する。

賛成



高橋浩輔（みらい）

急速なエネルギー価格や食材料費の高騰を受け、施設の燃料費や小・中学校等の給食用材料費等の増額に迅速に対応した。このほか、第7次総合計画の策定に当たり、様々な形で市民意見を聴き、バックキャストリング手法を取り入れるなど、新たな挑戦に取り組む姿勢を評価し、全議案に賛成する。

反対



上野公悦（日本共産党議員団）

個人情報保護条例の廃止は、個人のプライバシー侵害等多くの問題に繋がると考える。また、コロナ禍の市内経済や暮らしの低迷に拍車をかけるガスや下水道料金の値上げ、地域住民が署名運動を行い存続を強く求めた市民いこいの家の浴場の廃止など、14 議案に反対する。

反対



橋本洋一（久比岐野）

介護保険法は、要介護者の増加と介護環境の変化に対応するため3年ごとに改正が行われ、現在、2024年の法改正に向けた議論が進んでいる。これまで社会ニーズに応じた改正が行われてきたことから、介護保険制度の抜本的な見直しは必要ないものと考え、賛同しない。

賛成



宮越馨（無所属）

時代の変化とともに、介護需要は高まり、老々介護や介護離職、事業所の経営難など、介護現場は財政的にも非常に厳しい状況が続いている。この蓄積してきた諸課題について検討し、より良い制度とするため、現場からの切実な声を国へ届けるのが地方議会の責務であると考え、賛同する。

賛成



平良木哲也（日本共産党議員団）

介護保険料や利用料、食費等の利用者の負担軽減をはじめ、介護報酬の改善、介護職員の配置基準引き上げ、従事者の新型コロナウイルス感染症対策の強化など、制度の抜本的な見直しを行うほか、国庫負担の割合を大幅に引き上げることが、将来に渡り安心して利用できる制度の実現に繋がると考え、賛同する。

発議案第 4 号 上越市議会個人情報の保護に関する条例の制定に対して

反対



上野公悦（日本共産党議員団）

デジタル関連法に基づく条例制定は、個人のプライバシーの侵害、地方自治の侵害、国民生活への大きな影響といった重大な問題に繋がりがかねない。また、条例制定に際してパブリックコメントを行わないことは、広く市民の声を聴き、市民に開かれた議会として認めることはできないと考え、反対する。

一般質問 145の視点

一般質問とは、議員が市の行政全般にわたって、市長や教育長等に方針・見解・事実の説明・報告などを求めるものです。今定例会では、24 人が登壇し、145 の質問で論戦を繰り広げました。その中から一部抜粋して掲載します。



皆さんは、どのテーマに関心がありますか？

● 副市長 4 人制 / 市長公約 / 上越教育大学前新駅設置	} 11 ページ
● 労働者協同組合 / 働き方改革 / 全国旅行支援 / よしかわ杜氏の郷	
● 児童虐待防止	
● 妊娠・出産期の支援 / 小学校の農業体験 / 吹上・釜蓋遺跡	} 12 ページ
● 人事改革 / S D G s	
● 中小企業向け支援 / クールジャパン E X P O / 母子手帳アプリ「母子モ」	
● 特殊詐欺対策 / 中学校の部活動指導員	} 13 ページ
● H I K A K I N さんを観光大使に / 上越三市連携	
● 保倉川放水路整備状況 / 副市長の職務分担 / 面川水門 / ドローン活用	
● 町内会事務委託料 / 三世同居・近居	} 14 ページ
● 市の組織体制 / 総合計画 / ハラスメント防止策 / 部活動の地域移行	
● 介護保険制度	
● 市が目指す年間観光	} 15 ページ
● 身寄りがない人への支援 / 市民の歌 / 不登校児童生徒への支援	
● うみてらす名立の整備	
● 子育て支援	} 16 ページ
● 上越三市連携 / 上杉謙信公の記念事業 / 副市長 4 人制	
● 雪と生きるまち上越	
● 市長との信頼関係構築 / 地域おこし協力隊の派遣	} 17 ページ
● 閉館した公的施設 / うみてらす名立の改修計画	
● U P Z 自治体事前了解権とエネルギー拠点 / 市長公約	
● 市指定ごみ袋の活用	} 18 ページ
● 市長就任 1 年の評価と市長公約	
● 豪雪災害 / 町田古墳群	

二次元コードを読み取ると、その議員の一般質問の動画を視聴できます。



**副市長 4 人制提案せず
市民・議会に責任転嫁
こんどう 彰治（政新クラブ）**



問／副市長 4 人制を提案しなかった真意は。その責任を市民や議会に転嫁したように思える。

答／これまで市民や議会に説明してきたが、賛同いただける状況ではないと判断し見送った。

市長公約実現へ向けどう取り組むのか

問／政策アドバイザー制度導入へ向けた動きは。

答／当初の政策諮問委員と位置付けは変わるが、令和 5 年度当初予算での提案を検討している。

問／寺町地区の通年観光の検討状況は。

答／職員間の打合せや、寺院や地域住民との意見交換を行っている。丁寧に話し合いを進め、観光事業者の意見を聞き検討していく。

問／しがらみのない政治の公約は守られたのか。

答／選挙活動、政治活動においては、しがらみを持たない考えであるが、市長就任後は様々な分野の方と対話を重ね信頼関係を構築している。

問／市長選挙時に宮越氏と取り交わした政策協定は、全て反故にされているのではないか。

答／当初から、私が納得した政策しか取り組まないという考えであり、その点に変わりはない。

上越教育大学周辺への新駅設置の考えは

問／上越教育大学周辺への新駅設置の考えは。

答／利用者の増加に繋がるかは考えにくく、設置する考えはない。



**「労働者協同組合」設立に向けた後押しを！
杉田 勝典（公明党）**



問／労働者協同組合は、多様な人材が働ける場の創出に繋がる。設立に向け積極的な推進を。

答／出資者、経営者、労働者が一体となった非営利の法人格で、介護や子育て、地域づくり等の担い手確保が期待される。周知に努めたい。

働き方改革で生産性向上や心の豊かさを

問／残業ゼロや男性育休取得率 100% の促進を。

答／生産性の向上や市民の心の豊かさにも繋がる。ハッピー・パートナー企業への補助等で働き方改革を推進する事業者を後押ししたい。

全国旅行支援で観光関連事業者の支援成果は

問／令和 4 年 10 月に開始され、成果はどうか。

答／「令和 3 年より宿泊数が 3 割増えコロナ禍前に戻りつつある」、「クーポン利用が多く客単価が上がっている」との声も届き、経済効果が生まれている。今後も国や県の動向に合わせ、市としての支援策を検討していきたい。

よしかわ杜氏の郷の譲渡先選定の根拠は

問／優先交渉先を株式会社源建設にした根拠は。

答／地元の事業者であり、選定委員会の評価が最も高かった。経営持続性、財務内容の安定性が高く、永く経営を担い、酒造文化と技術の継承等も達成できると判断した。



**児童虐待防止の広報・啓発の取り組みは
橋本 洋一（久比岐野）**



問／児童相談所では、児童虐待対応の全国共通ダイヤル「189（いち は や く）」を開設しており、また、同名の映画も制作されている。当市における児童虐待防止のための広報・啓発活動の取り組みはどうか。

答／国では、11 月を「児童虐待防止推進月間」と定め、児童虐待防止のための広報・啓発活動を実施している。この推進月間に合わせて当市では、「体罰によらない子育てを広げよう」をテーマに、子育てのポイントや悩んだ時の相談先等について、広報上越などで周知啓発を行ったところである。また、多くの人から児童虐待への関心を持ってもらうために、映画「189」の自主上映を目指す市民有志の取り組みを、市としても後援することとしている。

児童虐待は、子どもの心身の成長や人格の形成に深刻な影響を及ぼす重大な人権侵害であり、社会全体で取り組まなければならない大きな課題だと認識している。引き続き、啓発等を行い、地域全体で子どもたちを温かく見守り、健やかな育ちを支えながら、関係機関と連携して、より一層、虐待防止に取り組んでいく。

児童相談所 虐待対応ダイヤル

189

※一部の IP 電話からはつながりません。



**妊娠・出産期の支援の
充実を！**



**人事改革の取り組みの
進捗状況は**



**中小企業向け支援制度
利用状況は**



問／生後8週未満の乳児の預かり事業の実施や、民間で実施している団体への支援はできないか。

答／産前・産後ヘルパー派遣事業や産後ケア事業などを通じて、産婦の育児負担軽減に対する支援体制は整っており、直ちに実施する考えはない。さらなる支援の充実を研究する。

問／産前・産後ヘルパー派遣事業について、申請時期の見直しや、多胎児の場合の派遣上限時間の拡充など、利用しやすく改善できないか。

答／緊急で支援が必要な方へは、事業所と調整を行い柔軟に対応している。多胎児の上限時間については、範囲内で十分対応が図られている。

小学校の農業体験の支援体制強化を！

問／小学校における農業体験の現状と課題は。

答／令和3年度は、48校中36校で稲作体験に取り組み、稲作の難しさや収穫の喜び、農家の努力等を学習した。指導者の高齢化が課題で、今後の体験学習継続に向け、関係団体と連携していく。

吹上・釜蓋遺跡の現状と活用方針は

問／両遺跡は、観光の重要な資源と考えるが、今後の活用について聞きたい。

答／両遺跡をかけがえのない宝と捉え、価値の発信と共有に努める一方、景観保全など歴史資源としての魅力の磨き上げに努めていく。



**特殊詐欺被害に遭わな
いために対策を！**



問／過去3年間の被害件数、被害額はどうか。

答／令和元年は12件、総額1、736万円、令和2年は2件、総額59万円、令和3年は11件、総額3、623万円である。令和4年11月末現在の被害状況は、19件、総額1億1、217万円で、件数、金額ともに過去3年を上回る状況にある。

問／被害を無くするため、特殊詐欺対策機器の普及や啓発活動等の拡充を推進すべきではないか。

答／防犯機能付き電話の導入促進に努めている。近年の特殊詐欺の手口は巧妙化、多様化していることから、被害に遭わないためには、防犯機能付き電話の導入だけではなく、年代を問わず、一人一人が防犯意識をしっかりと持ち、詐欺の手口を知り、対策方法を学ぶことが必要である。

中学校の部活動指導員の今後の取組方針は

問／これまでの成果と課題、今後の取組方針は。

答／成果としては、専門的な技術指導による生徒の活動意欲向上や、顧問の部活動への従事時間削減と精神的な負担感軽減が挙げられる。一方で、配置の希望人数に対し、指導員を十分に確保できないことが課題である。引き続き、指導経験豊富な部活動指導員から、地域のスポーツ・文化活動の振興に協力いただけるよう、制度の見直しを含め検討していく。

問／副市長4人制の提案見送りで公約達成に影響はないか。

答／公約達成に影響がないよう、市政運営をしっかりと行い、政策・施策を着実に推進していく。

問／職員のやる気喚起や女性管理職の登用についてどう考えているのか。

答／策定中の人事改革の方針で、職員のやる気喚起に関して、職員研修、人事評価、キャリアデザインなどの観点から、具体的な取り組みを検討している。女性管理職は、今後も積極的に登用し、組織の活性化を図っていく方針である。

SDGsの推進を

問／SDGsの推進に取り組むべきではないか。

答／関連施策の推進はもとより、市民の意識啓発に向け、一層の普及啓発を図る。

**SDGsの推進を
実行しないと
地球に住めなくなる**

☐ 気候変動 ☐ 食糧危機 ☐ 森林破壊 ☐ 海洋資源 ☐ 水 ☐ 感染症 ☐ 貧困 ☐ 差別・偏見 ☐ 労働・人権 ☐ パワーシフト ☐ デジタルリスク	今の経済社会では地球は約1.7個/年必要 全世界が日本人と同じ暮らしだと約2.8個/年必要
--	---

市長：政策を市民に披露し、実行する役割

公務員：
市長が実行できるようにまとめて施策する。上越市を支えるのだという使命感がある。市民全員がある程度納得して合意できるラインを探す。我やこだわりが強すぎず、バランス感覚や冷静さを兼ね備えている事も重要な資質。



**HIKAKINさんを
観光大使に！**



問／観光大使は、市の知名度を上げる取り組みとして効果的であり、妙高市では世界的に有名な庭園デザイナー・石原和幸さん、糸魚川市ではタレントの横澤夏子さん等が観光大使となっている。上越市も観光大使を置く考えはないか。

答／観光大使の設置には、選考方法や活動内容など整理すべき課題があり、今後慎重に研究していく。

問／妙高市出身のHIKAKINさんのYOUTUBEチャンネルでは、当市を「地元上越」として何度も取り上げている。通年観光や教育、地域活力の向上を見据えて、HIKAKINさんに観光大使に就任してもらってはどうか。

答／観光大使の設置をはじめ、誰から就任いただくかなどは今後検討していきたい。

三市連携の状況は

問／妙高市・糸魚川市・上越市の三市議会は、共通課題についての要望活動に毎年取り組んでいる。行政側の三市連携も重要と考えるが、連携状況はどうか。

答／妙高市と共同で消防事務組合を設置しているほか、鉄道、道路建設などの要望活動において連携を図っている。北陸新幹線の敦賀延伸を見据え、三市を含め関係自治体と連携し、広域観光など地域の発展に向け取り組んでいく。

問／中小企業向け支援制度の利用状況は。

答／売上げの減少率に応じて給付する「事業者経営支援金」は、制度開始から第5次まで延べ7、008事業者、総額約15億200万円を給付した。このほか、物価高騰や原油価格高騰に合わせた支援金制度など、経済状況により必要な制度の創設や拡充を行い、地域経済支援に取り組み、事業者からも高く評価いただいている。

クールジャパンEXPOの成果

問／クールジャパンEXPOでの発信成果は。

答／「上杉謙信公と春日山城」をテーマに、市長や職員が武将に扮してPRし、甲冑体験は多くの方で賑わった。会場での聞き取り調査では、当市を「歴史のあるまち」とイメージする人が多く、効果的に展示やPRができたと考ええる。

母子手帳アプリ「母子モ」の内容充実

問／「母子モ」でどのような利便性向上に繋がるのか。母子健康手帳完全デジタル化の課題は。

答／運用開始から半年で1、190人の利用登録がある。今後、多言語対応や掲載方法の工夫など、一層の利便性向上を図っていく。母子健康手帳のデジタル化は、国の検討会で議論されているので、今後の動向を踏まえ検討していく。



**保倉川放水路整備計画
の推進**



問／保倉川放水路整備計画を推進するため、市が行える対策を進めるべきでないか。

答／道路整備やコミュニティ施設の建設、移転代替地の確保など、分断の影響を軽減する対策を住民に提案し、課題解決に向けて検討する。

副市長の職務分担に保倉川放水路の推進を

問／副市長の事務分担に関する規程に、保倉川放水路・市長公約等の重要案件を特命事項として明記し、事業を推進してはどうか。

答／保倉川放水路の推進に関することは、八木副市長が担任するよう指示した。また、特命事項については、今後検討する。

面川水門に強制排水ポンプの設置を

問／面川水門の管理者である県に対し、強制排水ポンプの設置を求めるべきではないか。

答／近年の気候変動に伴う災害状況を踏まえ、排水ポンプ設置の必要性について県と協議する。

ドローンを活用した地域活性化を

問／ドローン等の最先端の技術を活用した地域活性化の取り組みを推進する考えはないか。

答／ドローンをはじめとする先端技術について、地域の課題解消に向けた利活用を見据えながら、先進事例を参考にしつつ、引き続き研究する。

町内会事務委託料の見直しを！

高橋 浩輔（みらい）



問／町内会は本来の業務に加え、市の事務委託に基づき行政を補助する役割も多く担っており、その負担は大きいと考える。令和2年度の見直し以降、どのような意見を聞いているか。その意見や町内会の現状を踏まえ、改めて事務委託料に反映する考えはないか。

答／見直しを行って以降、一部の町内会長から、負担が大きいことや、各種人選が難しく苦慮されているという声をはじめ、「世帯数に応じた段階的な均等割単価を設定すべきではないか」、「民生委員・児童委員の推薦などは世帯割の方が適しているのではないか」というご意見も聞いている。市の方針を説明し、理解いただくには時間がかかるが、できるだけ速やかに見直しの検討に着手したいと考えている。

三世代同居・近居に対する支援策は？

問／三世代同居・近居のメリットをいかにするために、その支援制度として、福島県いわき市では住宅新築・取得の経費を補助している。当市においても同様の支援策を講ずる考えはないか。

答／近年、ライフスタイルが大きく変化している。多様な家族形態を選択することができると時代であり、行政が三世代同居などの生活様式を促すことは難しい面もある。既存の住環境向上のための事業を活用いただければと考える。

多様化する市民ニーズに対応した組織編成

ストラットン恵美子（久比岐野）



問／子育てと教育の部署を統合する考えは。
答／現時点では考えていない。

問／外国人市民支援課を設置してはどうか。

答／関係部署や国際交流協会等との情報共有と連携で、総合的に対応できる体制を構築する。

総合計画の達成分析はWell-beingが鍵

問／第7次総合計画の達成度等の分析のために、Well-beingを把握する考えはあるか。

答／当面は、国の動向や他の自治体の先行事例などを注視し、研究する。各種調査の結果を活用し、関連する指標の把握に努める。

健全で明るい職場環境で市民サービス向上を

問／行政内のハラスメント防止策を聞きたい。

答／上越市ハラスメント防止及び対応に関する指針を策定し、対応している。

「部活動の地域移行」に向けた市の考え

問／令和5年度に向け、方向性は決まったのか。

答／休日は部活動を原則として行わないが、休日にスポーツ等を希望する生徒のための人材確保等を推進委員会で検討し、環境整備を進める。

※Well-beingとは、肉体的、精神的、社会的全てにおいて満たされた幸福な状態。

上越市が目指す
通年観光とは何か

安田 佳世（久比岐野）



問／目指す「通年観光」の姿は何か。

答／当市の観光の課題は、イベント中心の季節型観光に偏っていることである。自然や歴史、文化などの地域資源をいかし、それぞれの魅力を磨き、高めることで、年間を通して多くの来訪者に楽しんでもいただくことを目指したい。

問／高田・直江津・春日山の3つの拠点だけでない観光振興が必要だと思うがどうか。

答／観光振興を進めるに当たっては、13区や中山間地域も念頭に置き、まずは広域から集客が望める3つのエリアを施策の柱として取り組むことで、その効果が周辺に広がると考えている。各地域の資源の付加価値を高め、引き続き魅力を発信し、3つの拠点と相互作用を働かせたい。

問／市長のビジョンを地域に伝え、その上で地域との意見交換を進める必要があると思うがどうか。

答／まずは地域の皆さんが何をしたいかをお聞きし、考えていきたい。計画の大枠についてはお伝えしているが、具体的な内容について、今はお示しする段階ではないと考えている。

問／広域連携を行うことによる、観光客及び周辺自治体へのメリットは何か。

答／それぞれの自治体で足りない観光資源を補うことで、地域全体の魅力が底上げされ、より多くの方々に訪れていただける地域となる。

「身寄りがない人」の
支援は大丈夫ですか？

中土井 かおる（みらい）



問／ご家族や親族の援助が受けれない方は、入院や施設利用等で困難が生じる。安心して医療や介護を利用できるように地域共通のガイドラインを策定する必要があるのではないか。

答／令和3年度に約30件の相談があった。令和4年7月の市民と市長との対話集会でも同様の意見があり、先進的な自治体の取り組みを参考に、ガイドライン策定に向けた検討を進めている。

「市民の歌」を「存じますか」？

問／合併を機に「このふるさとを」という歌が誕生したが、浸透していないと感じる。市民の一体感を醸成するための取り組みが必要ではないか。

答／市民の歌がふるさとに愛着を持ってもらう契機となるよう、式典や各種イベントでの活用を改め、働きかけ、一層の啓発に努める。



登校できない子どもへの支援の充実を望む！

問／フリースクール等の利用が増えてきたが、必要な情報が確実に伝わる取り組みの状況は。

答／令和3年度の小・中学校での不登校児童生徒は260人。令和4年9月に、お子さんが学校に「行けない」、「行きたくない」そんな時に読んでほしいリーフレットを全保護者へ配布した。

介護保険制度改定は
更なる負担増を進める

上野 公悦（日本共産党議員団）



問／厚生労働省は、介護保険制度の次期改定に向け、「給付と負担の見直し」に関する7つの論点を社会保障審議会（介護保険部会）に示した。「介護保険サービスの利用料負担（2／3割）の対象拡大」、「要介護1及び2の訪問介護などを保険給付から外す」、「ケアプランの有料化」、「老健施設などの相部屋（多床室）の有料化」、「補足給付の資産要件に不動産を追加する」など、利用者やその家族、介護事業所等に更なる負担増と給付抑制に繋がる内容だ。どのように考えるか。

答／国から公表された範囲でしか情報を持っていない。個々の論点について、是非を言える段階ではない。保険者として必要なサービスを提供していくとともに、給付と負担のバランスを図りながら、保険料と公費、利用者負担の適切な組み合わせにより、持続可能な制度を確立していくことが重要であると考えている。

問／個々の論点について、是非を言えないというのはおかしい。世論の反対で先送りにせざるを得なくなった論点もある。介護保険制度を守るために、しっかりと市長の考えを述べるべきだ。

答／毎年、全国市長会を通じて国費の負担割合を増やすことや、介護度1・2を介護保険制度の対象から外すことなどをしないよう国に求めている。

うみてらす名立を
重点的に整備すべき

木南 和也（久比岐野）



問／指定管理者が第三セクターから民間会社になったうみてらす名立について、市として達成したい成果をどのように設定しているのか。

答／うみてらす名立は、当市の重要な観光施設であり、名立区の地域振興の核となる施設であることから、指定管理者の指定に当たっては、プロポーザル方式で「サービス向上」、「経費の縮減」、「利用促進」、「適正な管理運営」の提案をいただいて選定したが、具体的な数値目標を定めたものはない。なお、指定管理者の株式会社B Jは、社員に常に改善の意識を持たせる「意識改革」に重点を置いて、新たな魅力の創出に取り組んでいる。

問／建設から20年以上が経過し、老朽化しているため、改装や建て替えに向けた検討を進めるべきであると考えているがどうか。

答／施設は毎年、小規模な修繕を行っているが、老朽化や社会環境の変化に伴う利用者の嗜好の変化により、機能の再編を伴うリニューアルの検討が必要となっている。まずは、株式会社B Jをはじめ関係者と協議を重ね、うみてらす名立の今後の将来計画を策定することとし、利用者数や地域経済に与える影響などの達成したい成果のほか、そのために必要となる施設機能の見直しや大規模改修を含め、検討を進めていきたい。



**子育て支援3つのゼロ
実現を**
平良木 哲也（日本共産党議員団）



問 コロナ禍と物価高騰の中、子育て支援の強化として、①給食費ゼロ、②子どもの医療費ゼロ、③子どもの国保税ゼロの3つのゼロを実現すべきではないか。

答 給食費は、経済的に就学困難な児童生徒に支給しているほか、子ども医療費は未就学児と市民税非課税世帯の小学生は無料にしている。子どもの国保税減免は、保険税が確保できないので考えていない。

問 所得の多寡に関わらず、すべてのお宅が、今困っている。近隣市ではどうなっているか。

答 妙高市は、一部補助を実施している。

問 妙高市では主食部分を3年前から無料にしている。そういった段階的な負担軽減の方法もあるが、実施してはどうか。

答 子育て支援では、就学困難な皆さんを支えることに重点を置いて施策を実施している。保育園等も同様である。

問 子育て支援の充実は、同じ教室で同じように学んでいる子どもたちすべてを対象にするのが基本だ。仮に低所得世帯を重点に支援するというのであれば、現在の対象を広げる考えはあるのか。基準自体が低いのではないか。

答 どこかで線引きが必要だが、市政全体のバランスの中で、どこまで子育て施策に重点を置くかの検討が必要だと考えている。



**地域課題解決のため
上越三市長の懇談を**
池田 尚江（創風）



問 市長は、地域の課題解決のため、リーダーシップを発揮し、妙高市長・糸魚川市長と定期的に懇談の機会を設けるべきと考えるがどうか。

答 池田議員と同じく、三市長が会う必要性を感じている。さらなる連携強化が必要な課題も多いため、地域全体の発展をけん引する役割を果たす視点も持って、市政運営に臨んでいく。

上杉謙信公を顕彰する各種記念事業

問 今後の謙信公祭百回・謙信公没後四百五十年・生誕五百年の記念事業の際に、春日山城を守ってきた支城・砦がある地域の皆さんを招待してはどうか。

答 これらの記念事業については、市民をはじめゆかりのある全国の地域の方々と共に祝いたい。その中で、支城や砦を守る皆さんとの連携の取り組みについて検討していきたい。

副市長4人制のボールの行方は



問 令和3年12月定例会で、議会はボールを市長に返したと認識しているが、返したボールはどこへ行ったのか。

答 これからも皆さんとキャッチボールをする機会を作っていきたいと思っている。



**市長にとって信頼関係
構築が最も大事では**
栗田 英明（政新クラブ）



問 中川市長は、「副市長4人制」の提案見送りを市民や議会の理解を得られていないためとしたが、理解を得るためには何が必要か。

答 これまでの議会の議論や市民の声を踏まえ、理解いただくための手法も合わせて、検討・研究していきたい。

問 職員やシティプロモーションの相手先についても市長の考えが理解してもらえていないと考える。最も大事なのは、信頼関係の構築と考えるがいかか。

答 職員とは常に議論し、現状や課題の共有化を図ってきている。今後も、国や県、関係団体の皆様にも直接お会いし、対話を重ねることで信頼関係を構築していく。

地域おこし協力隊員を住民組織に派遣しては

問 地域おこし協力隊や企業人材派遣制度等を活用していくことが必要ではないか。地域おこし協力隊を各地域自治区にあるまちづくり振興会等へ派遣することはできないか。

答 これまで22人の隊員を受け入れ、現在11人が市内各所で活動している。退任後も市内定住ができるような支援に力を入れている。また、大手旅行代理店からの人材派遣も得ており、今後も活用については検討していく。まちづくり振興会等への派遣についても検討する。



**閉館した公的施設
解体を含めた今後は？**
高山 ゆう子（みらい）



問 大手町の一角にある閉館した旧女性サポートセンター・旧高田地区公民館・旧大手福祉館は、立入禁止ロープが張られ、何年も放置されている。中心市街地の美観を損ねた状態であり、市民からも苦情や心配する声がある。解体を含む今後の予定を聞きたい。



旧女性サポートセンター

答 この土地は、様々な用途の活用が見込める優良な土地であり、解体を前提に総合的に再開発すべく検討中である。いつまでに解体するとは言えないが、施設はそれまでの間、駐車場も含め適切に維持管理を行う。

うみてらす名立の今後の改修計画は

問 うみてらす名立は、開業から22年が経過し、建物の経年劣化や客層の変化もある。名立の魅力をいかし、「海の駅」の要素も含めた「道の駅」にすべく、今後の改修計画について聞きたい。



うみてらす名立

答 同施設は、老朽化と社会環境の変化に伴う機能再編を考慮したリニューアルが必要な状況である。今後は、指定管理者や関係者と協議を重ね、将来計画の策定と、達成したい成果を見据えた施設の機能の見直しや、大規模改修を含め検討を進めていく。



**「雪と生きる」覚悟と
誇りのある上越を！**
滝沢 一成（政新クラブ）



問 第7次総合計画案に「上越市ならではの」とある。「上越市ならではの」とは、「人々が多く住む都市（あるいは人口集積地）×平地から山間地まである市域×世界でも稀な豪雪」だ。「雪と生きるまち上越」を追求することが、上越にしかない魅力を創成することと考えるがどうか。

答 雪は、当市のまちづくりにおいて欠くことのできない存在であり、克服の対象とされる一方、私たちの暮らしに多くの恵みをもたらし、当市ならではの文化や風土の形成に大きな影響を与えてきた。清廉で豊富な雪解け水は、農業や酒造りを支え、雪国の風土に育まれた発酵食品など、豊かな食文化が連綿と息づく。

大雪にも屈せず、雪を利用する雪国文化を育んだ知恵と技術、雁木に象徴される他者を思いやる心など、雪とともに歩んできた私たちの歴史や暮らしは、自信を持って全国に発信することのできる大切な財産である。

今後、人口減少や高齢化の進展により、各家庭での除排雪が困難となる。共助公助による除排雪体制づくり、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めなくてはならない。

第7次総合計画の基本目標の一つ「安全安心、快適で開かれたまち」の実現に向け、利雪や克雪の取り組みとともに、雪国文化の継承に取り組んでいきたい。



市長公約「最先端のエネルギー制度」を問う
丸山 章（政新クラブ）



問 市長は、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に際し、UPZ自治体が事前了解権を有する安全協定の締結が必要との考えを示した。市長の強い意志を他自治体に先んじて示す考えはないか。

答 UPZ自治体の各首長は、実現に向けて取り組みを進めていく認識が共有されていないため、「事前了解権」を有する安全協定の締結を求めることは、現時点では難しい。

問 直江津港エリアを、天然ガスを中心としたエネルギー拠点にするところがあるが、既に直江津港はエネルギー・物流の拠点である。市長が考えるエネルギー拠点とはどのようなものか。港湾管理者である県との協議は始まったのか。

答 メタンハイドレートの調査、アンモニア混焼の実証事業など、先進的な取り組みが加速しており、拠点性が高まる。脱炭素に向けた動きなどを踏まえ、国や県と連携して進める。

市長公約の政治責任等の認識は

問 市長公約が反故に等しい状況になっていることは、市民に対する背信行為になる。政治責任や市民への説明責任の重要性について、認識を聞きたい。

答 市民に約束した公約は、政治家にとって極めて重いものであり、公約が実現できなければ、市民の信頼を失うことになる認識している。



広報広聴委員会

皆さんの声をお聴きします！

上越市議会は、皆さんの意見を市政や議会運営に反映させることを目指しています。

01 意見交換会に参加する

毎年5月と11月頃に議会報告会と併せて開催しています。議員が直接地域に出向き、皆さんから幅広く意見をお聴きします。開催のお知らせは、ホームページや議会だより春号・秋号をご覧ください。



詳しくはこちら

02 議会ポストに送る

メール、郵便、FAXなどにより、市議会への質問・疑問、意見等を随時受け付けています。いただいたご意見等は、議会内で検討し、議長から回答するなどの対応をします。



詳しくはこちら

03 請願・陳情を提出する

国や地方公共団体に対し、皆さんの意見や要望を文書で提出することができる制度です。提出された請願・陳情は、議会において審査されます。



詳しくはこちら



指定ごみ袋をレジ袋に
転用し環境負荷軽減を
渡邊 隆（久比岐野）



問／市は、ごみの減量化を図るため、平成20年度からごみ処理を有料としているが、この制度による事業効果はどうか。

答／家庭ごみの処理に係る経費の約2割を市民から負担いただき、指定ごみ袋の製造や配送、ごみ集積所の設置や更新の支援、不法投棄の回収などの費用に充て、環境保全に活用している。市民1人の1日当たりのごみ排出量は、導入直後の平成20年度において、導入前と比べ約2割減少した。近年も減少傾向が続き、ごみを排出しない意識が浸透していると認識している。指定ごみ袋は、米ぬかを原材料とすることで、石油由来のごみ袋と比較すると、原材料の使用重量の約2割をバイオマスに代替することができ、環境負荷の低減にも貢献していると考えている。

問／有料レジ袋の代わりに、指定ごみ袋の購入かマイバック使用を選択できるようにすることで、ごみの減量化と環境への配慮に繋がると考えるがどうか。

答／レジ袋として使用した場合、ちぎれるなど、ごみ袋として使用できなくなる恐れがある。
問／レジ袋として使用できる良質なごみ袋を製造できるよう、業者への支援も必要ではないか。
答／一層環境に配慮したバイオマス素材等の研究・開発に努めていただけるよう、製造業者に働きかけていく。



ビジョン無し、公約違反、
市長退陣を勧める
宮越 馨（無所属）



問／市長就任後1年が経過したが、これまでの成果と評価を70〜80点と自己評価しているが信じられない。点数を付けようがない。

答／8つのプロジェクトを立ち上げ、可能な限り取り組んでいる。何をすればいいかわかったから評価を高くした。公約実現に尽くしたい。

問／子育て日本一、住みよさ全国一、雁木通りを世界遺産にと言うが、どう実現するのか！

答／子育てについては、市民の意見を聞きながら進める。雁木通りについては、日本一長いことを特徴付け、他と違うように整備していく。

問／市長のリーダーシップ論とは何か。

答／職員が生きがいを持って、人材育成がなされ、それがレベルアップしていく形を絶対つくる。市民も自治を学び、事業者も経営について学びながらレベルアップして、全国、そして世界に発信する上越市にする。

問／私との関係が「しがらみ」でないと言うなら、なぜ政策協定の政策を実行しないのか。

答／納得のいくものしかやらない。

問／ただ市長になったただけなのか！ビジョンも展望も希望もない市政では、大きく後退する。市民からは、「選挙詐欺」と言われている。約束は守らない、嘘が多い、市長の要素を大きく欠いている。市政の発展に大きな障害となっている。市民と同じく市長の退陣を勧める。



豪雪はそれ自体が災害、
害、国に働きかけを
橋爪 法一（日本共産党議員団）



問／豪雪というのは、それ自体が災害だ。助けてくれというところにすぐ助けのための手を差し出す、それが政治だ。「これは、普通の雪か、災害の雪か。これは住宅の雪か、店舗の雪か。」、そんなことを言って除雪する人はいない。今のやり方では駄目だと国にはっきり言ってほしい。

答／机上の空論で豪雪地帯のことを考えていては困る。国にも強く訴えていく決意だ。

町田古墳群の発見の意義は

問／町田古墳群発見の意義について聞きたい。

答／この発見は、頸北地域にも大和政権と繋がりをもち、古墳群を造営する集団がいたことを示しており、当市の歴史に新しい1ページを加える成果だ。

問／教育大綱に「上越市はあなたのわくわくする学びを支えていきたい」とある。市長も応援してほしい。

答／地域の子どもたちが地元に関心を持ち、わくわくする学びはとても大切だ。私も全力で応援していきたい。





ホームページ



本会議
動画配信



委員会
動画配信



Facebook

“ 議会を見に来ませんか? ”

会場

本会議 ▶ 市役所 6 階 議場（傍聴席）
委員会 ▶ 市役所 5 階 第 1 委員会室

申込
不要

日程

3 月定例会の日程は下記のとおりです。
その他の会議情報はホームページ等で随時お知らせします。

＼子育て中の皆さん！／

本会議や委員会は、お子様連れでも傍聴できます。また、上越市の「一時預かり事業」を利用し、お子様を下記対象施設等に預けて議会を傍聴する場合は、その利用料金を助成します。

助成金額

3 歳未満児 700 円/日 3 歳以上児 500 円/日（上限）
※市内在住の方、小学校就学前のお子様を対象です。

対象施設等

ファミリーヘルプ保育園 / 保育園等での一時預かり
オーレンプラザこどもセンター / ファミリーサポートセンター

助成を受けるには、申込みが必要です。
詳しくは、議会事務局（025-520-5805）にお問合せください。

次の定例会は

令和 5 年 3 月 1 日（水）～
24 日（金）

総括質疑 3 月 1 日（水）～ 2 日（木）
（本会議）

委員会 3 月 3 日（金）～ 14 日（火）

一般質問 3 月 16 日（木）～ 22 日（水）
（本会議）

※日程が変更となる場合は、ホームページ等でお知らせします。

編集後記

私も市政に携わって約50年。思い返せば、直江津市長の佐藤策次氏から始まり、上越市初代市長の小山元一氏、植木公氏、宮越馨氏、木浦正幸氏、村山秀幸氏、そして現職の中川幹太市長と、7人の市長と巡り合いました。二元代表制として「市長と議会」、これからもこの議会だよりを通じて市民との「かけはし」となるよう取り組んでまいります。

広報広聴委員会 池田尚江